

試験地位置図

人工林の適切な保育・管理施業の試験

(多様な下刈作業及び下刈作業時における天然有用樹育成技術試験)

(平成6年度設定 適正本数 - 省力施業試験地位置図)

(楠見 国有林237へ 林小班)

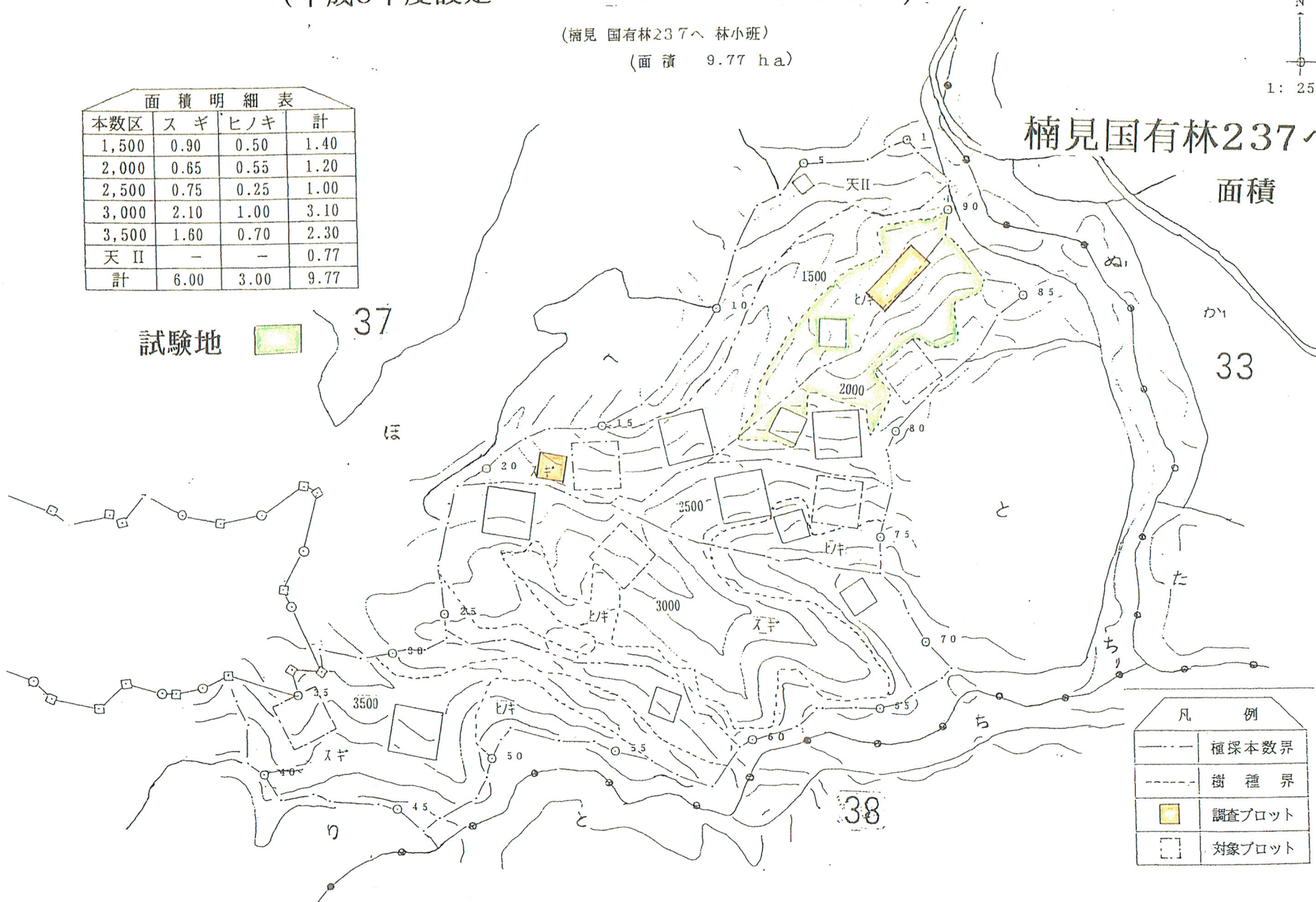
(面積 9.77 ha)

N
1: 2500

本数区	スギ	ヒノキ	計
1,500	0.90	0.50	1.40
2,000	0.65	0.55	1.20
2,500	0.75	0.25	1.00
3,000	2.10	1.00	3.10
3,500	1.60	0.70	2.30
天 II	-	-	0.77
計	6.00	3.00	9.77

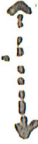
楠見国有林237へ林小班

面積 1.00ha





平成7年6月20 現在

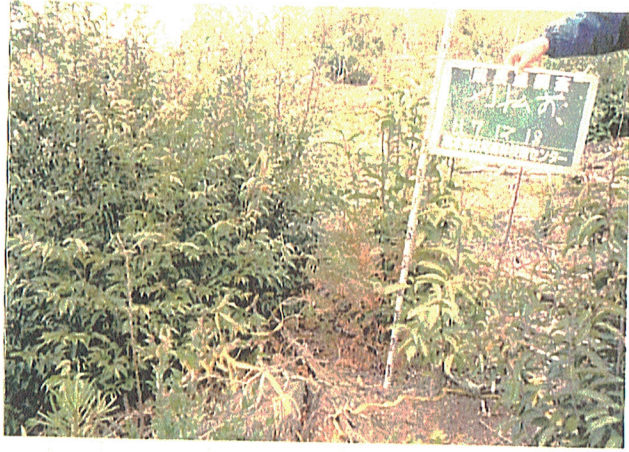




No 1 477
 No 2 478









平成8年度技術開発実施報告書

様式2-2

No.1

<p>課題名</p>	<p>人工林の適切な保育・管理施業の試験</p>			
<p>課題区分</p>	<p>自主課題</p>	<p>開発箇所</p>	<p>楠見国有林 237へ林小班</p>	<p>開発期間 平成8年度 ～ 平成12年度</p>
<p>当年度別実施計画</p>		<p>当年度実施報告</p>		
<p>1, 試験地設定</p> <p>2, 生長量調査</p> <p>3, 試験地表示</p> <p>4, 有用樹発生調査</p> <p>5, 工期調査</p>	<p>1, 試験地設定 冬季下刈区(ヒノキ)1.00% プロット面積0.10% 通常下刈区(ヒノキ)0.04% (対象区として6年度設定ヒノキ全刈区 1,500本区を併用)</p> <p>プロット面積 ヒノキ試験地: 20m×50m (冬季下刈区) ヒノキ試験地: 20m×20m (通常下刈区) 各プロットL杭にて区域明示 各試験木: 小L杭にて一連番号を持って根元に立 て明示 区域全景: 各プロット毎に写真記録</p> <p>2, 生長量調査 根元径: mm単位 樹高: cm単位 枝張調査: cm単位 (東・西・南・北)</p> <p>設定時調査 (ヒノキ1,500本区) 冬季下刈区調査プロット 根元径 0.7cm 樹高45cm 枝張10cm 通常下刈区調査プロット 根元径 0.7cm 樹高46cm 枝張11cm</p> <p>3, 試験地表示 全体表示板1基 (1.5m×1.0m)</p> <p>4, 有用樹発生調査 スギ1,500本区にプロット設定(20m×20m) 特定樹種: ヤマザクラ・ヤマグワ・イチイガシ クスノキ・ウラジロガシ・シラカシ</p> <p>5, 工期調査 冬季下刈区 (面積1.00%) プロット内工期4.2人/箇所 延雇用量5.625人/箇所5.625人 通常下刈区 プロット内工期4.9人/箇所 (通常下刈区プロット内工期は、ヒノキ1.500本使用)</p>			